



2010年1月29日

「NTT-グリーンLLP」によるソーラーシステムの運用開始について

～企業グループのLLPとして日本初の取り組み～

NTTグループでは、「つなぐ。それは、ECO」を合言葉にグループ一体となって環境貢献活動に取り組んでいますが、その一環として環境にやさしい自然エネルギーの普及促進施策「グリーンNTT」を推進しています。低炭素社会のシンボルとも言えるソーラーシステム（太陽光発電）の導入拡大に努め、平成24年度までにグループ全体で5MW規模の保有をめざしています。

取り組みの推進主体として設立した「NTT-グリーン有限責任事業組合」（以下、NTT-グリーンLLP）を中心に太陽光発電施設の構築を進めてきましたが、平成22年2月1日、グループ保有施設3箇所において、NTT-グリーンLLPによる太陽光発電施設の運用を開始します。企業グループのLLPによる太陽光発電の導入と、グリーン電力証書を融合した環境事業は、日本初の取り組みになります。

なお、3箇所合計での発電容量は530kWで、グループ各社が個別で導入したものとあわせると、グループ全体での太陽光発電施設の発電容量規模は約3MWとなります。

NTTグループは、今後も低炭素社会の実現に向け、自然エネルギーの国内普及拡大に貢献するため、自らも率先して取り組んでいきます。

1. 運用を開始する太陽光発電施設※1

設置場所	所属会社	発電容量	運用開始予定日
筑波研究開発センター (茨城県つくば市)	NTT	100kW	平成22年2月1日
東日本ロジスティクスセンター※2 (埼玉県加須市)	NTT東日本	300kW	平成22年2月1日
名古屋ロジスティクスセンター※2	NTT西日本	130kW	平成22年2月1日

(愛知県丹羽郡)			
----------	--	--	--

- ※1 推定発電量は上記建物で現在利用されている電力消費量の約9%に相当し、発電量のうち建物内消費分の環境価値はグリーン電力証書として証書所有者に帰属します。
- ※2 当該施設を使用し「物流センタ」を運営する(株)NTTロジスコが、電力消費者となります。

2. 今後のNTT-グリーンLLPによる主な取り組みについて

(1) グループ・シナジーによるLLPの運営

NTT、NTT東日本、NTT西日本などのグループ会社が保有する不動産を中心に、更なる太陽光発電施設の設置を効率的に進めていきます。グループ各社は本LLPに出資・参画することで、自然エネルギーの設備拡大に貢献します。また、自治体（佐久市（長野県）及び高知県）とのLLPの運営実績のあるNTTファシリティーズのスキル・ノウハウを活用します。

(2) 太陽光発電施設設置計画

平成22年度中に3箇所、約540kWの設備構築を行う予定であり、平成24年度までに本LLPにより約2.1MWの太陽光発電設備の構築をめざします。

(3) グリーン電力証書の発行・交付について

太陽光発電施設での発電量実績に応じた「グリーン電力証書」を発行し、出資企業に対し、出資割合に応じて交付します。交付を受けるグループ各社では、イベントでの電力利用や東京都環境確保条例によるCO₂排出削減に換算するなど、自社の環境付加価値として活用していきます。

【参考】NTT-グリーンLLPの概要

- (1) 事業概要 : 太陽光発電施設によるエネルギー供給、関連サービスの提供 等
- (2) 設立 : 平成20年8月29日
- (3) 所在地 : 東京都港区芝浦3丁目4番1号
- (4) 出資金総額 : 約40億円（平成24年度までの出資予定金額累計）
- (5) 出資組合員 : 日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ、株式会社NTTファシリティーズ、エヌ・ティ・ティ・コム

ウェア株式会社、エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社
以上9社

<本件についての問合せ先>

C S R 推進室

TEL : 03 - 5205 - 5560

環境推進室

TEL : 03 - 5205 - 5326

NTT ニュースリリース 

Copyright(c) 2010 日本電信電話株式会社